

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	03	01	06	0404	小学生医療費助成事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-1	子育て環境の充実			
	施策	1	子育て支援の充実			
目的	経済的負担の軽減					
対象	小学生の児童を持つ保護者					
意図	医療費を助成することにより、小学生の児童を持つ保護者の経済的負担が軽減され、安心して子育てができる環境づくりが図られる。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○小学生医療費助成事業 対象者：小学校1年生から6年生に該当する者 給付額：1医療機関1月につき、入院5,000円、入院外1,500円を控除した額 (平成26年8月1日以降の診療分から、入院2,500円、入院外750円を控除した額)						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	小学生医療費受給者証交付人数	人	計画	3,500	3,400	
			実績	2,860	2,892	
②	小学生医療費給付額	千円	計画	13,000	40,917	
			実績	4,470	22,278	
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
目的妥当性	公共関与の妥当性	少子化及び景気低迷の社会情勢にあつて、安心して子育てができる環境づくりを図るために、小学生の医療費を助成することは妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	乳幼児から小学生に移行する者については漏れなく把握しており、受給者証の切替をおこなう。 対象者及び給付額については県要綱より拡大して給付しており、平成26年8月1日診療分からさらに自己負担を軽減している。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	
	<input type="radio"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費は医療給付費であり、受給者の受診状況に応じた予算措置が必要である。医療費給付システムの活用、一部事務の外部委託、事務内容の見直し等を行っているが、毎月の給付を限られた期間内に正確に行うためには、現在の業務時間は削減できない。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	受給資格の認定や自己負担額について、市の規則で定めている。 少子化及び景気低迷の社会情勢にあつて、子育て支援のために小学生の医療費を助成することは妥当である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
安心して子育てができる環境づくりを図るため、円滑かつ確実に助成を実施していくことで、小学生の児童を持つ保護者の経済的負担を軽減する。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	03	01	06	0404	小学生医療費助成事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			22,278		22,278
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		22,278		22,278

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	----------------------------	-----------------

部経営方針における目標
子育て支援を充実し子育てしやすい環境を目指します。

事業開始の背景・経緯
平成25年10月 市単事業として、事業開始。

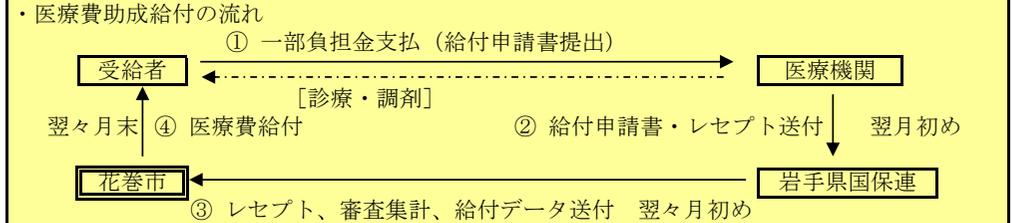
事業概要
○小学生医療費助成事業
対象者：小学校1年生から6年生に該当する者
給付額：1医療機関1月につき、入院5,000円、入院外1,500円を控除した額
(平成26年8月1日以降の診療分から、入院2,500円、入院外750円を控除した額)

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
今後も適切に事業を実施していく。
本事業は、平成25年10月から事業実施したところであり、今後の状況を分析し、その充実を検討する。

担当部署 部名 健康福祉部 課名 国保医療課 担当係長 小原 真由美 内線 533

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



・医療費支給額内訳

		医療費給付額		
		自己負担	市負担額	各保険者
入院外	1,500円 (750円)	1,500円を超えた額 (750円)	各保険者 高額療養費限度額を超えた額	
入院	5,000円 (2,500円)	5,000円を超えた額 (2,500円)	各保険者 高額療養費限度額を超えた額	

・事業費の内訳 (決算額)

医療給付費 (小学生)	22,277,811	(単位 円)
計	22,277,811	